

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成24年6月1日

**【四半期会計期間】** 第48期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

**【会社名】** サンコーテクノ株式会社

**【英訳名】** SANKO TECHNO CO., LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 洞下 英人

**【本店の所在の場所】** 千葉県流山市東初石六丁目183番1

**【電話番号】** 04-7178-5535

**【事務連絡者氏名】** 取締役副社長 佐藤 静男

**【最寄りの連絡場所】** 千葉県流山市東初石六丁目183番1

**【電話番号】** 04-7178-5535

**【事務連絡者氏名】** 取締役副社長 佐藤 静男

**【縦覧に供する場所】** 株式会社大阪証券取引所  
(大阪府中央区北浜一丁目8番16号)

## 1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社の平成23年3月期及び平成24年3月期第1四半期連結財務諸表作成に当たり、一部の連結子会社の決算日ずれにより、連結子会社決算日から連結決算日までの当社との間に生じた重要な取引について行った調整に一部誤りがありました。

具体的には、当社グループのセンサーセグメントに関して、平成23年3月期に内部取引が発生し、平成23年3月期第4四半期においてアルコール測定器の駆け込み特需があり、期末に売上高が一時的に増加したため期ずれ調整を行い、当社のセンサーセグメントの仕入高に対応する連結子会社の売上高を計上し、相殺消去を行いました。その際、連結子会社の売上原価に関する仕訳並びに当該取引に関する税効果の仕訳をしておりませんでした。

平成24年3月期の期末監査手続きにおいて、新日本有限責任監査法人より、売上原価に関する調整仕訳が計上されていない旨の指摘を受けました。また、平成24年3月期第1四半期においても同様の処理を行っておりました。

その結果、当社が平成23年8月11日に提出いたしました第48期第1四半期(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、新日本有限責任監査法人により四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正を行いましたので、あわせて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

## 2 【訂正事項】

### 第一部 企業情報

#### 第1 企業の概況

##### 1 主要な経営指標等の推移

#### 第2 事業の状況

##### 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

###### (1) 業績の状況

###### (4) 財政状態の分析

#### 第4 経理の状況

##### 1 四半期連結財務諸表

###### (1) 四半期連結貸借対照表

###### (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

四半期連結包括利益計算書

##### 注記事項

(セグメント情報等)

(1株当たり情報)

### 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_\_を付して表示しております。

#### 第一部【企業情報】

##### 第1【企業の概況】

##### 1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第47期 第1四半期連結 累計期間	第48期 第1四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	2,604,668	2,811,809	13,626,170
経常利益(△は損失)(千円)	△38,852	<u>△40,748</u>	<u>489,223</u>
四半期(当期)純利益(△は損失)(千円)	△20,661	<u>△36,501</u>	<u>260,951</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	17,086	<u>△17,790</u>	<u>243,951</u>
純資産額(千円)	6,446,862	<u>6,590,596</u>	<u>6,669,459</u>
総資産額(千円)	13,267,602	<u>13,483,180</u>	<u>13,743,512</u>
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (△は損失)(円)	△10.15	<u>△17.94</u>	<u>128.24</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	47.5	<u>47.8</u>	<u>47.5</u>

(訂正後)

回次	第47期 第1四半期連結 累計期間	第48期 第1四半期連結 累計期間	第47期
会計期間	自平成22年4月1日 至平成22年6月30日	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成22年4月1日 至平成23年3月31日
売上高(千円)	2,604,668	2,811,809	13,626,170
経常利益(△は損失)(千円)	△38,852	<u>△26,669</u>	<u>443,988</u>
四半期(当期)純利益(△は損失)(千円)	△20,661	<u>△20,977</u>	<u>211,073</u>
四半期包括利益又は包括利益(千円)	17,086	<u>△2,266</u>	<u>194,073</u>
純資産額(千円)	6,446,862	<u>6,556,241</u>	<u>6,619,581</u>
総資産額(千円)	13,267,602	<u>13,448,826</u>	<u>13,693,634</u>
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (△は損失)(円)	△10.15	<u>△10.31</u>	<u>103.73</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—
自己資本比率(%)	47.5	<u>47.7</u>	<u>47.3</u>

## 第2【事業の状況】

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

(訂正前)

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月に発生した東日本大震災により経済全体が大きな打撃を受けました。その後徐々に回復の兆しが見られたものの、電力供給不安や円高傾向等により先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましても、震災後の本格的な復旧・復興計画に遅れが出ているほか、民間設備投資の抑制などが見受けられました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては引き続き、「安全・安心・環境」のキーワードのもと、各事業部において新製品の開発に注力しております。リニューアル事業では、ゼネコンとの共同開発で耐震補強工法用アンカーを発表したほか、センサー事業では、モバイルタイプのアルコール測定器を発売しました。なお、前期より業務効率の向上に向けたIT投資(システムのERP化)を進め、これに伴う費用が一時的に増えました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,811百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業損失28百万円(前年同期は営業損失42百万円)、経常損失40百万円(前年同期は経常損失38百万円)となりました。四半期純損失は、36百万円(前年同期は四半期純損失20百万円)となりました。

(省略)

#### ③センサー事業

電子基板関連では車両向けの製品受注が好調であったほか、「旅客自動車運送事業運輸規則」及び「貨物自動車運送事業輸送安全規則」の一部改正に伴う特需や新製品発売に伴う他社製品からの切替えによりアルコール測定器の売上が大きく寄与しました。

この結果、当セグメントの売上高は168百万円(同28.1%増)、セグメント損失は8百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。

(省略)

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、3月に発生した東日本大震災により経済全体が大きな打撃を受けました。その後徐々に回復の兆しが見られたものの、電力供給不安や円高傾向等により先行き不透明な状況が続きました。

当社グループが関連する建設市場におきましても、震災後の本格的な復旧・復興計画に遅れが出ているほか、民間設備投資の抑制などが見受けられました。

このような事業環境の中、当社グループにおきましては引き続き、「安全・安心・環境」のキーワードのもと、各事業部において新製品の開発に注力しております。リニューアル事業では、ゼネコンとの共同開発で耐震補強工法用アンカーを発表したほか、センサー事業では、モバイルタイプのアルコール測定器を発売しました。なお、前期より業務効率の向上に向けたIT投資(システムのERP化)を進め、これに伴う費用が一時的に増えました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,811百万円(前年同四半期比8.0%増)、営業損失14百万円(前年同期は営業損失42百万円)、経常損失26百万円(前年同期は経常損失38百万円)となりました。四半期純損失は、20百万円(前年同期は四半期純損失20百万円)となりました。

(省略)

### ③センサー事業

電子基板関連では車両向けの製品受注が好調であったほか、「旅客自動車運送事業運輸規則」及び「貨物自動車運輸事業輸送安全規則」の一部改正に伴う特需や新製品発売に伴う他社製品からの切替えによりアルコール測定器の売上が大きく寄与しました。

この結果、当セグメントの売上高は168百万円(同28.1%増)、セグメント利益は5百万円(前年同期はセグメント損失2百万円)となりました。

(省略)

#### (4) 財政状態の分析

##### (訂正前)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より260百万円減少して13,483百万円となりました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より181百万円減少して6,892百万円となりました。これは主として短期借入金、未払法人税等が減少した一方、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より78百万円減少して6,590百万円となりました。これは主として利益剰余金が減少した一方、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

##### (訂正後)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より244百万円減少して13,448百万円となりました。これは主として現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少した一方、たな卸資産が増加したことによるものであります。

負債の合計は前連結会計年度末より181百万円減少して6,892百万円となりました。これは主として短期借入金、未払法人税等が減少した一方、支払手形及び買掛金、賞与引当金が増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末より63百万円減少して6,556百万円となりました。これは主として利益剰余金が減少した一方、為替換算調整勘定が増加したことによるものであります。

#### 第4【経理の状況】

##### 1【四半期連結財務諸表】

##### (1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,390,890	1,294,053
受取手形及び売掛金	3,032,585	2,485,718
たな卸資産	<u>2,201,722</u>	<u>2,622,304</u>
その他	<u>844,959</u>	<u>842,495</u>
貸倒引当金	△70,063	△67,833
流動資産合計	<u>7,400,094</u>	<u>7,176,738</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,896	1,365,117
土地	3,067,211	3,067,931
その他（純額）	449,792	386,220
有形固定資産合計	<u>4,862,899</u>	<u>4,819,268</u>
無形固定資産	121,691	126,726
投資その他の資産	※2 1,358,826	※2 1,360,446
固定資産合計	<u>6,343,417</u>	<u>6,306,441</u>
資産合計	<u>13,743,512</u>	<u>13,483,180</u>
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,909	1,119,823
短期借入金	4,228,311	3,929,843
未払法人税等	95,620	43,351
賞与引当金	127,547	193,224
災害損失引当金	2,195	2,195
その他	325,138	282,388
流動負債合計	<u>5,718,723</u>	<u>5,570,826</u>
固定負債		
長期借入金	52,728	43,896
退職給付引当金	974,914	949,544
役員退職慰労引当金	218,375	218,706
その他	109,313	109,611
固定負債合計	<u>1,355,330</u>	<u>1,321,758</u>
負債合計	<u>7,074,053</u>	<u>6,892,584</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	5,509,473	5,411,929
自己株式	△244,111	△244,111
株主資本合計	<u>6,615,144</u>	<u>6,517,600</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,618	△18,898
繰延ヘッジ損益	597	378
為替換算調整勘定	△62,701	△50,208
その他の包括利益累計額合計	<u>△82,722</u>	<u>△68,729</u>
少数株主持分	137,037	141,724
純資産合計	<u>6,669,459</u>	<u>6,590,596</u>
負債純資産合計	<u>13,743,512</u>	<u>13,483,180</u>

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,390,890	1,294,053
受取手形及び売掛金	3,032,585	2,485,718
たな卸資産	2,156,486	2,591,147
その他	840,316	839,298
貸倒引当金	△70,063	△67,833
流動資産合計	<u>7,350,216</u>	<u>7,142,384</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,345,896	1,365,117
土地	3,067,211	3,067,931
その他（純額）	449,792	386,220
有形固定資産合計	<u>4,862,899</u>	<u>4,819,268</u>
無形固定資産	121,691	126,726
投資その他の資産	※2 1,358,826	※2 1,360,446
固定資産合計	<u>6,343,417</u>	<u>6,306,441</u>
資産合計	<u>13,693,634</u>	<u>13,448,826</u>
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	939,909	1,119,823
短期借入金	4,228,311	3,929,843
未払法人税等	95,620	43,351
賞与引当金	127,547	193,224
災害損失引当金	2,195	2,195
その他	325,138	282,388
流動負債合計	<u>5,718,723</u>	<u>5,570,826</u>
固定負債		
長期借入金	52,728	43,896
退職給付引当金	974,914	949,544
役員退職慰労引当金	218,375	218,706
その他	109,313	109,611
固定負債合計	<u>1,355,330</u>	<u>1,321,758</u>
負債合計	<u>7,074,053</u>	<u>6,892,584</u>

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	768,590	768,590
資本剰余金	581,191	581,191
利益剰余金	5,459,595	5,377,575
自己株式	△244,111	△244,111
株主資本合計	<u>6,565,266</u>	<u>6,483,246</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△20,618	△18,898
繰延ヘッジ損益	597	△378
為替換算調整勘定	△62,701	△50,208
その他の包括利益累計額合計	<u>△82,722</u>	<u>△68,729</u>
少数株主持分	137,037	141,724
純資産合計	<u>6,619,581</u>	<u>6,556,241</u>
負債純資産合計	<u>13,693,634</u>	<u>13,448,826</u>

## (2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	※ 2,604,668	※ 2,811,809
売上原価	1,801,195	1,941,374
売上総利益	803,472	870,435
販売費及び一般管理費	846,390	898,860
営業損失(△)	△42,918	△28,425
営業外収益		
受取利息	905	2,247
受取配当金	1,156	1,125
仕入割引	13,420	9,975
投資不動産賃貸料	5,173	7,560
持分法による投資利益	964	1,008
その他	16,749	5,873
営業外収益合計	38,370	27,792
営業外費用		
支払利息	7,451	6,182
売上割引	19,606	21,629
その他	7,245	12,302
営業外費用合計	34,304	40,114
経常損失(△)	△38,852	△40,748
特別利益		
固定資産売却益	2	1,428
貸倒引当金戻入額	22	—
特別利益合計	25	1,428
特別損失		
固定資産除却損	1,363	1,577
災害による損失	—	2,531
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	920	—
特別損失合計	2,283	4,109
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,109	△43,428
法人税等	△23,519	△9,578
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,589	△33,849
少数株主利益	3,071	2,651
四半期純損失(△)	△20,661	△36,501

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	※ 2,604,668	※ 2,811,809
売上原価	1,801,195	1,927,295
売上総利益	803,472	884,514
販売費及び一般管理費	846,390	898,860
営業損失(△)	△42,918	△14,346
営業外収益		
受取利息	905	2,247
受取配当金	1,156	1,125
仕入割引	13,420	9,975
投資不動産賃貸料	5,173	7,560
持分法による投資利益	964	1,008
その他	16,749	5,873
営業外収益合計	38,370	27,792
営業外費用		
支払利息	7,451	6,182
売上割引	19,606	21,629
その他	7,245	12,302
営業外費用合計	34,304	40,114
経常損失(△)	△38,852	△26,669
特別利益		
固定資産売却益	2	1,428
貸倒引当金戻入額	22	—
特別利益合計	25	1,428
特別損失		
固定資産除却損	1,363	1,577
災害による損失	—	2,531
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	920	—
特別損失合計	2,283	4,109
税金等調整前四半期純損失(△)	△41,109	△29,349
法人税等	△23,519	△11,023
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,589	△18,325
少数株主利益	3,071	2,651
四半期純損失(△)	△20,661	△20,977

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,589	△33,849
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,781	1,721
繰延ヘッジ損益	—	△219
為替換算調整勘定	40,457	14,556
その他の包括利益合計	34,676	16,058
四半期包括利益	17,086	△17,790
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,061	△22,507
少数株主に係る四半期包括利益	9,024	4,717

(訂正後)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△17,589	△18,325
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,781	1,721
繰延ヘッジ損益	—	△219
為替換算調整勘定	40,457	14,556
その他の包括利益合計	34,676	16,058
四半期包括利益	17,086	△2,266
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,061	△6,983
少数株主に係る四半期包括利益	9,024	4,717

【注記事項】

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(訂正前)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,270,175	385,440	156,194	2,811,809	—	2,811,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	510	5,909	12,027	18,447	△18,447	—
計	2,270,685	391,349	168,221	2,830,256	△18,447	2,811,809
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	26,915	△56,951	△8,478	△38,514	10,089	△28,425

(訂正後)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ファスニング 事業	リニューアル 事業	センサー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,270,175	385,440	156,194	2,811,809	—	2,811,809
セグメント間の内部 売上高又は振替高	510	5,909	12,027	18,447	△18,447	—
計	2,270,685	391,349	168,221	2,830,256	△18,447	2,811,809
セグメント利益又はセグ メント損失(△)	26,915	△56,951	5,600	△24,435	10,089	△14,346

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

(訂正前)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	△10円15銭	△17円94銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	△20,661	△36,501
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	△20,661	△36,501
普通株式の期中平均株式数(株)	2,034,886	2,034,759

(訂正後)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
1株当たり四半期純損失金額	△10円15銭	△10円31銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	△20,661	△20,977
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	△20,661	△20,977
普通株式の期中平均株式数(株)	2,034,886	2,034,759

# 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年5月31日

サンコーテクノ株式会社

取締役会 御 中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	布施木 孝叔	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	中川 昌美	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサンコーテクノ株式会社の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

## 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

## 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

## 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サンコーテクノ株式会社及び連結子会社の平成23年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

## その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成23年8月9日に四半期レビュー報告書を提出した。

## 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が連結財務諸表に添付する形で別途保管しております。

連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。